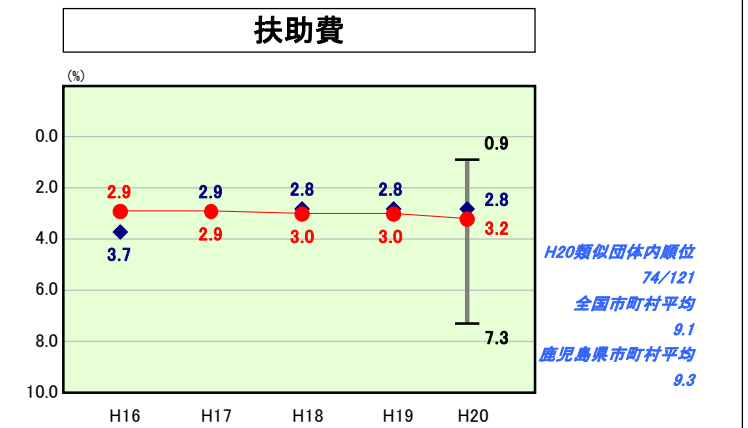
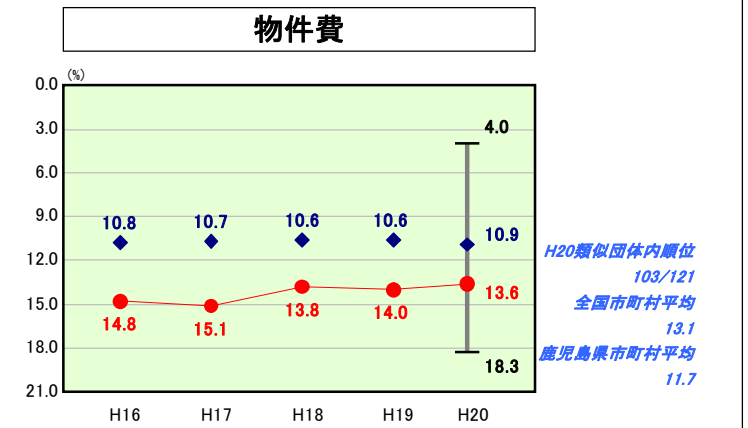
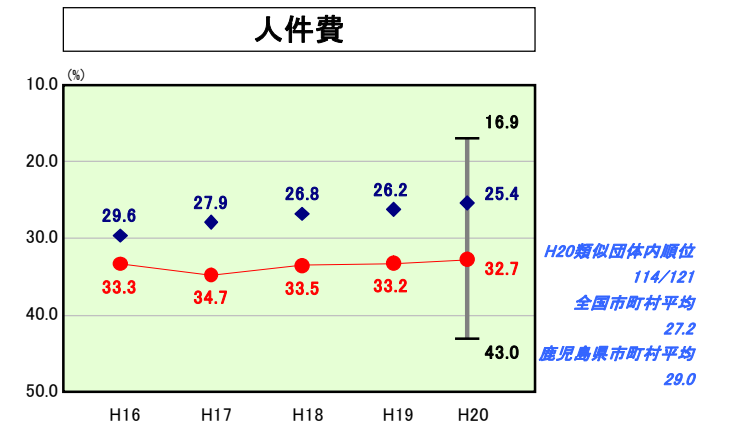
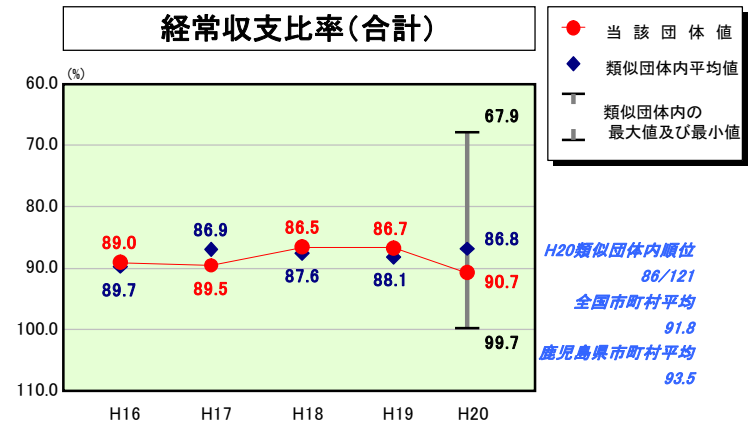
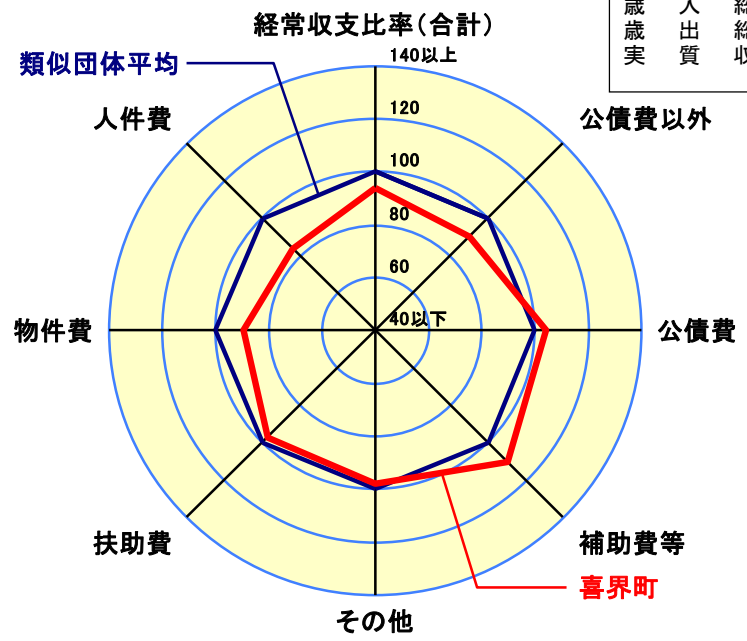


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	8,333 人(H21.3.31現在)
面積	56.94 km <sup>2</sup>
標準財政規模	3,500,886 千円
歳入総額	6,068,664 千円
歳出総額	5,909,497 千円
実質収支	133,243 千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

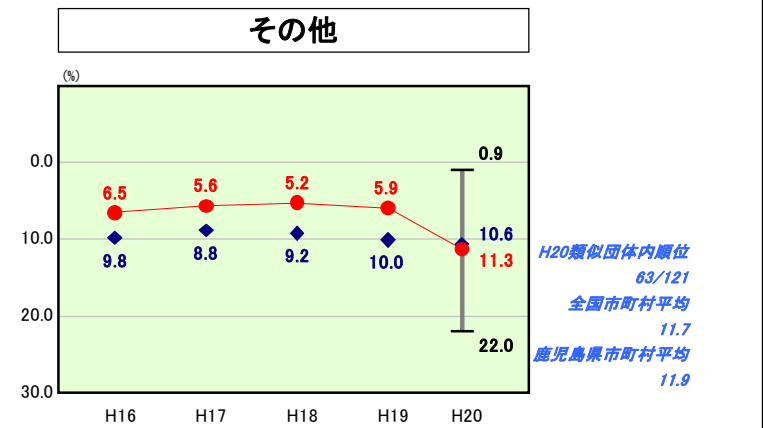
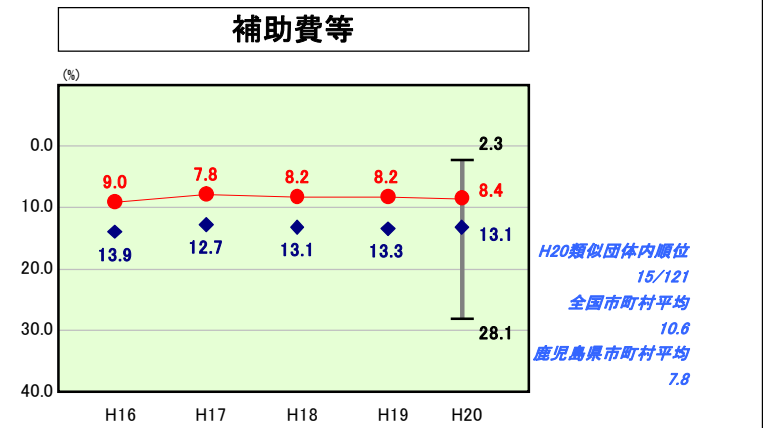
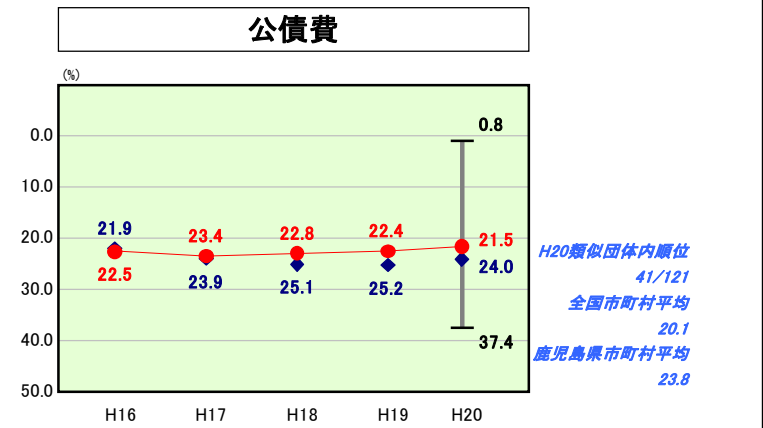
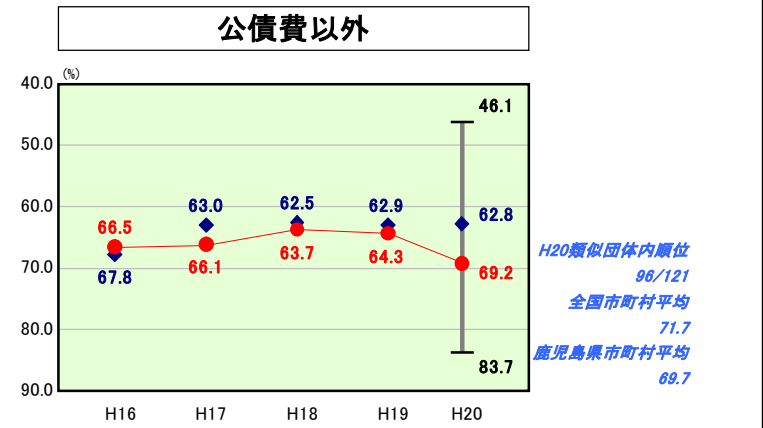
## 分析欄

**【人件費・物件費】**  
 類似団体平均を上回っているのは、一島一町で全ての行政サービスを自己完結しなければならないためである。今後は、民間で実施可能な部分については、指定管理者制度の導入など、積極的に民営化を進め、コスト削減に努める。

**【公債費】**  
 現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後も無理のない事業実施により、新規発行の抑制に努める。

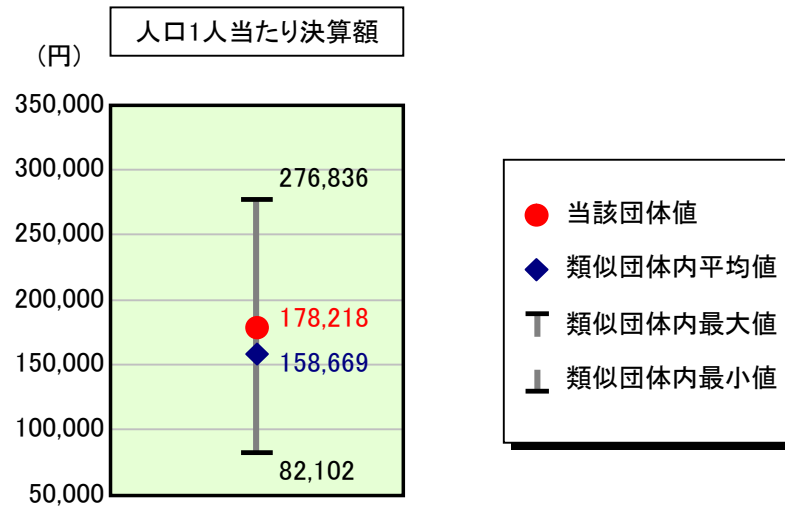
**【補助費等】**  
 行財政改革大綱・集中改革プラン実施による補助金の見直し等により類似団体平均を下回っている。今後も現在の水準維持に努める。

**【その他】**  
 類似団体平均を上回っているのは、繰出金の増加が主な要因である。簡易水道事業会計・下水道事業会計における建設改良経費としての特別会計への繰出金が必要となっているためである。また、国民健康保険事業会計の財政状態の悪化に伴い、赤字補てん的な繰出金が増加していることも要因である。今後は、独立採算の原則に立ち返って加入促進・使用料・保険料の適正化を図る。



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



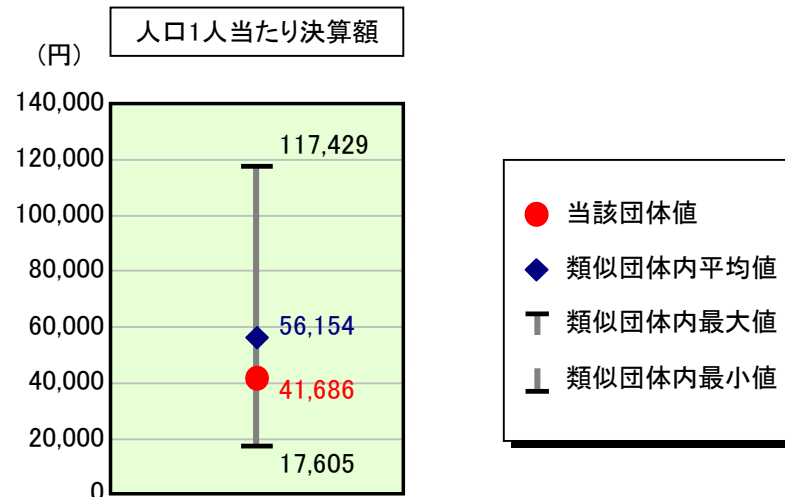
### 人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	1,221,280	146,559	129,552	13.1
賃金(物件費)	144,091	17,292	10,429	65.8
一部事務組合負担金(補助費等)	121,055	14,527	20,026	27.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	2,946	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	124,097	14,892	6,123	143.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	39,575	4,749	3,305	43.7
▲退職金	▲165,008	▲19,802	▲13,712	44.4
合計	1,485,090	178,218	158,669	12.3

### 参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	16.08	14.36	1.72
ラスパイレス指数	92.1	94.1	▲2.0

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

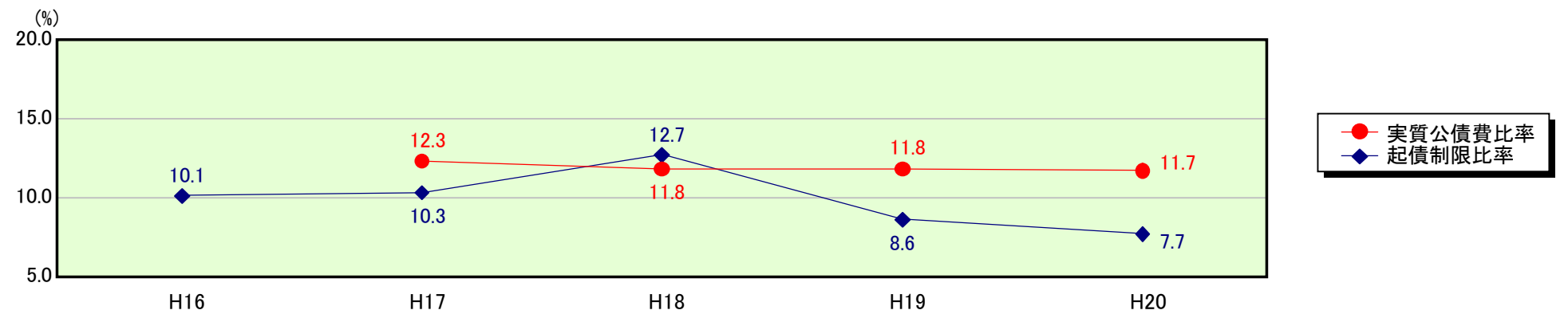


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	760,949	91,318	111,710	18.3
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	582	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	119,359	14,324	21,716	34.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	5,231	628	7,406	91.5
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	35,550	4,266	4,282	0.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	45	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	573,718	68,849	89,587	23.1
合計	347,371	41,686	56,154	25.8

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

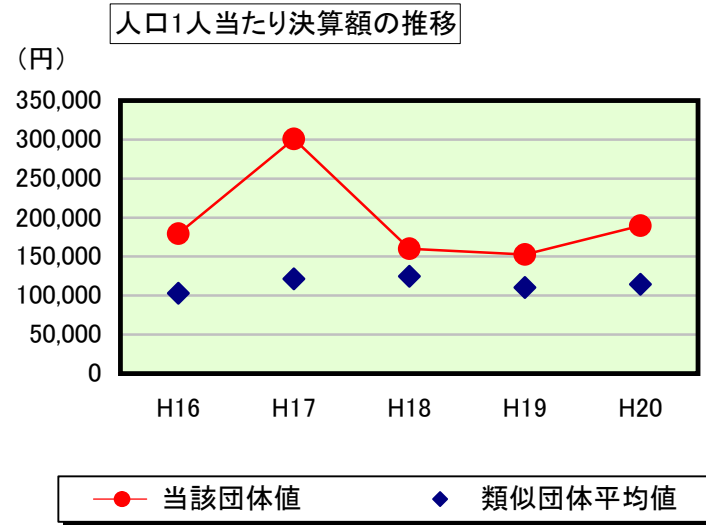
### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

鹿児島県 喜界町

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	1,571,454	179,369	2.9	102,879	22.0	19.1
うち単独分	251,820	28,743	33.7	57,230	▲ 17.8	51.5
H17	2,591,326	300,967	67.8	121,414	18.0	49.8
うち単独分	1,173,834	136,334	374.3	58,925	3.0	371.3
H18	1,386,063	160,164	46.8	124,895	2.9	49.7
うち単独分	215,423	24,893	▲ 81.7	61,345	4.1	▲ 85.8
H19	1,289,252	152,592	4.7	110,324	11.7	7.0
うち単独分	167,526	19,828	▲ 20.3	55,684	▲ 9.2	▲ 11.1
H20	1,579,756	189,578	24.2	114,677	3.9	20.3
うち単独分	249,909	29,990	51.3	55,912	0.4	50.9
過去5年間平均	1,683,570	196,534	7.5	114,838	▲ 1.8	9.3
うち単独分	411,702	47,958	71.5	57,819	▲ 3.9	75.4